

ことしの 主な事業って? 重点政策の主な事業

暮らしを守る

不妊治療費の助成 6,178万円

不妊治療を行う人の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外となる不妊治療(先進医療)の利用に要する費用の一部と交通費を補助します。

こどもファスト・トラックの推進

妊婦や子ども連れの方などを優先する取り組み(こどもファスト・トラック)を進めます。

海溝型地震への備え 3,300万円

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策を加速させるため、特別強化地域の39市町が取り組む津波避難施設等の整備を支援します。

農林水産業でのDXの推進

- 省力化や収益性の向上を図るため、スマート農林水産業を一層推進します。
- スマート農業推進事業 814万円
- ICT技術等を活用したコンプ生産増大対策事業 952万円
- スマート林業実装推進事業 7,116万円

半導体関連産業の集積促進 1億2,099万円

次世代半導体製造拠点の本格稼働を見すえ、製造・研究・人材育成が一体となった複合拠点の実現に向けて取り組みます。

ゼロカーボン北海道の推進 100億円規模

100億円規模の基金を創設し、環境と経済の好循環を図りつつ、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取り組みを推進します。

- 洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保支援事業
- 住まいのゼロカーボン化推進事業
- 新エネルギー設備等導入支援事業

今年度基金活用額
19億円

移住促進に向けたプロモーション 1,532万円

地方移住への関心の高まりを契機に、若年層や子育て世代をターゲットに各種プロモーションを展開します。

観光の高付加価値化

コロナ禍からの本格的なインバウンドの回復に向けて、観光の高付加価値化を進めます。

- テーマ別観光推進事業 5,676万円
- 新しいガイド制度の実現に向けた環境整備事業 2,888万円

食の海外販路拡大

コロナ後の本格的な消費回復をとらえ、食の販路開拓に向けたプロモーションなどを実施します。

- 食の海外販路拡大事業 6,642万円
- 道内水産物輸出拡大推進事業 1,334万円

就職氷河期世代の就業への支援 774万円

就職氷河期世代が正社員として就職するための支援を実施します。



未来を創る

地域と進める

地域おこし協力隊への支援強化 2,500万円

サポート窓口の設置や地域定着に向けた起業、就業支援など、入口から出口まで各フェーズでのサポートを強化します。

広告

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。



北海道、そしてわが国を取り巻く環境は、近年大きく変化しており、エネルギー問題や地球温暖化、さらには食料安全保障といった課題への対応がますます重要になっていきます。

このような中、道民生活の安定や足腰の強い地域経済の構築の構築に取り組みとともに、北海道のポテンシャルを最大限に発揮しながら、本道の価値を押し上げ、北海道の未来を創る取り組みを進めるべきです。

「(C)でかざり、道では「暮らしを守る」「未来を創る」「地域と進める」の3つの視点から、令和5年度の重点政策をとりまとめました。

重点政策のポイント

基本的な視点

- 道民生活の安定や足腰の強い地域経済の構築
- 本道のポテンシャルの最大限発揮による価値の押し上げ

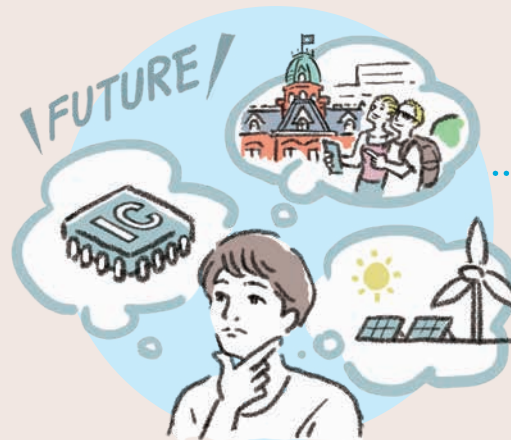
Point 1 暮らしを守る 安全安心な環境づくり

社会全体で子育てを支える子ども応援社会の実現、医療提供体制の充実といった「やさしく温かい社会づくり」のほか、災害への備えの強化をはじめとする「命と生活を守る基盤づくり」、農林水産業でのDXの活用などの「持続可能な1次産業づくり」を進めます。



Point 2 未来を創る 確かな成長を支える価値づくり

半導体関連産業の振興をはじめとする「成長を牽引する産業づくり」、観光、食、文化などの「世界に輝く魅力づくり」、移住・就労の促進や多様で柔軟な働き方の促進などを通じた「未来を担う人づくり」を進めます。



Point 3 地域と進める 共感と信頼の関係づくり

応援団第2章として、企業や地域おこし協力隊など、北海道に想いを寄せる方々との連携強化のほか、個性あふれる市町村の取り組みへの支援など「共に輝く地域づくり」、道庁自らが行動する「チャレンジする道庁づくり」を進めます。

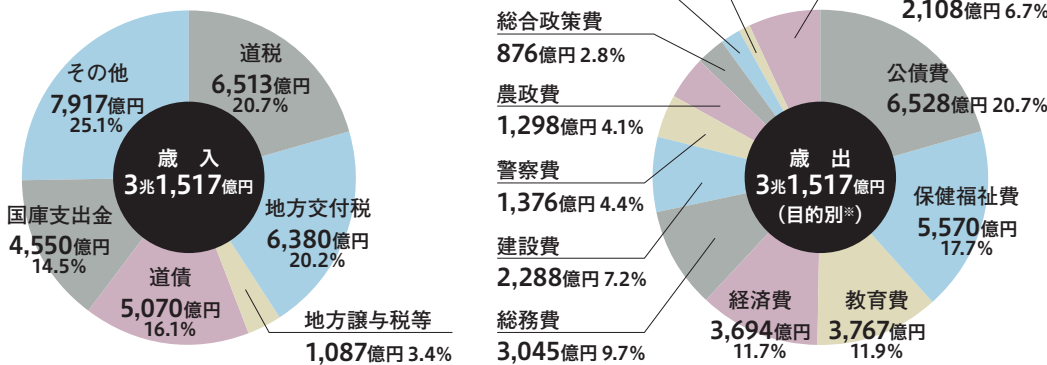


令和5年度予算の概要

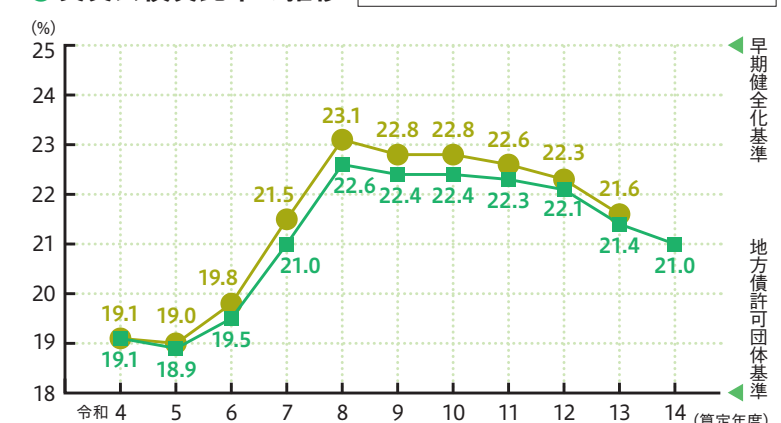
令和5年度予算は、昨年度と比較して745億円減の3兆1,517億円となりました(一般会計)。

実質公債費比率(財政規模に対する借金返済の割合)は、今後上昇する見通しにありますが、減債基金への積み戻しなどに取り組んだことにより、昨年9月時点の推計と比べ、一定の改善が図られました。なお、道財政は今後も多額の収支不足額が見込まれるなど厳しい状況が続くため、引き続き、財政の健全化に向けた取り組みを進めます。

●歳入・歳出の構成



●実質公債費比率の推移



※目的別:経費を行政目的で分類

道からののお知らせ

道庁からのお知らせなどをお伝えします。
詳しくは、各ウェブサイトでご確認ください。

特殊詐欺被害を防止するために!

特殊詐欺の犯人からの電話は、ほとんどが自宅の固定電話にかかってきます。犯人からの電話を受けないための固定電話対策が被害防止の第一歩です。

NTT東日本では、70歳以上の契約者または70歳以上の方と同居している契約者の回線を対象に、相手の電話番号が表示されるナンバー・ディスプレイサービスの無償化など、特殊詐欺対策を強化しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

道庁道民生活課
TEL.011-206-6148



低所得の子育て世帯に給付金を支給

食費などの物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、国の特別給付金(児童1人あたり一律5万円)を支給しています。

支給対象となるひとり親世帯で未申請の方は、申請期限までに早めの申請をお願いします。詳細は、市役所・町村役場にお問い合わせください。

対象世帯	支給対象者(申請が必要)
ひとり親世帯	・公的年金などを受給していることにより、児童扶養手当の支給を受けていない方 ・収入が児童扶養手当を受給する方と同じ水準となっている方

※ひとり親世帯以外の子育て世帯の方は、市町村にお問い合わせください。

道庁子ども家庭支援課
TEL.011-206-6328



新型コロナワクチン接種のお知らせ

9月以降、高齢者や基礎疾患をお持ちの方以外も広く対象となる「令和5年秋開始接種」が始まります。

また、初回接種(1・2回目接種)も引き続き実施していますので、接種の検討をお願いします。

ワクチンについての疑問や不安がある場合は、かかりつけの医療機関のほかワクチン接種相談センターにご相談ください。

北海道ワクチン接種相談センター
フリーダイヤル:0120-306-154
【受付時間】9:00~17:30(平日、土日・祝日)

道庁感染症対策課 TEL.011-206-0359



北海道低所得世帯臨時特別給付金について 申請は12月1日(金)まで

物価高騰による負担が増えていることを踏まえ、低所得世帯の生活の安定を図るため、各市町村による住民税非課税世帯への給付の対象とならない、住民税均等割のみの課税世帯に対し、臨時的措置として1万2千円を給付します。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

北海道臨時特別給付金コールセンター
フリーダイヤル:0120-175-043

【受付時間】9:00~18:00 ※年末年始および土日祝日を除く



お米・牛乳子育て応援事業申請は9月30日(土)まで

道では、2005年4月2日~2023年9月30日に誕生した新生児・児童のいる世帯に、お米と牛乳が購入できる商品券または電子クーポン、北海道米セットのいずれかを支給しています。支給を受けるには9月30日(土)までの申請が必要です。ただし、2023年8月1日~9月30日誕生の新生児の場合は10月31日(火)まで。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

北海道お米・牛乳子育て応援事業

事務局コールセンター

TEL.011-350-7371 【受付時間】9:00~17:00



子どもたちに豊かなスポーツ・文化芸術体験を 届けるため部活動の地域移行が始まります

少子化による生徒数の減少に伴い、地域によっては学校単位での部活動が維持できなくなっています。

子どもたちの貴重な人間形成の機会となるスポーツや文化芸術活動を継続できるように、公立中学校における休日の部活動は、徐々に地域での活動(地域クラブ活動)に移行していきます。

北海道教育庁部活動改革推進課
TEL.011-206-6067



道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。
令和5年第1回臨時会(5/11~5/17)

議長・副議長の就任

議長に函館市選出の富原亮議員(自民党・道民会議)、副議長に空知地域選出の稲村久男議員(民主・道民連合)が選出されました。



議長
とみはら あきら
富原 亮



副議長
いむら ひさお
稲村 久男

臨時会の概要

今臨時会は、令和5年4月9日に執行された一般選挙後初の議会であり、正副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の委員選任を行いました。

また、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応して、緊急に措置を要するための令和5年度補正予算

案、その他の案件が提案され、議決されました。

さらに、議員から提出された会議案1件、決議案7件、意見案2件が原案のとおり可決されました。

主な質疑

次の取り組みなどについて議論されました。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

●宿泊業環境整備緊急対策事業について

- ・緊急対策事業に関する考え方
- ・支援対象業種の線引きの基準
- ・観光関連産業の回復に向けた取り組み
- ・観光業以外の業種への拡大

●人材確保緊急支援事業について

- ・これまでの申請状況や活用実績
- ・対策の効果に対する評価と認識と今回の事業への反映
- ・人手不足解消の方策

●配合飼料高騰対策緊急支援事業等について

- ・これまでの事業成果への評価
- ・今回措置されていない肥料への対応

・鶏卵価格の安定に向けた対策

●給食原材料費等支援事業について

- ・昨年度の事業成果
- ・学校給食費の無償化検討への対応

●LPガス利用者緊急支援事業について

- ・一律の負担軽減とした考え方
- ・LPガス利用者以外との支援の差が生じかねないことへの考え
- ・円滑かつ迅速な事業の実施への取り組み

次回定例会のお知らせ

令和5年第3回定例会は9月中旬に開会の予定です。議会中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

ウェブサイトをご覧ください

議会中継・録画、議会日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧いただけます。

議会事務局
政策調査課
TEL.011-204-5691



抽選で
20名様

おいしい道産品 PRESENT

応募期限
9月29日(金)
必着

北海道コカ・コーラボトリング(株)の
「い・ろ・は・す 天然水」540mlPET
24本入りをプレゼント!

北海道の天然水「い・ろ・は・す 天然水」540ml PETの売り上げの一部は、北海道の豊かな水環境の保全活動に役立てられています。

「い・ろ・は・す 天然水」540mlPETは100%リサイクルペット素材を使用しています。

応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙9月号 おいしい道産品プレゼント」係

掲載記事の関連ページ、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も右記からアクセスできます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

次号のお知らせ 次号は10月25日(水)に配布予定です。

令和5年5月末 北海道の総人口	男	女
5,115,046人(前年同月より47,099減)	2,418,705人	2,696,341人

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



この広報紙は環境に優しい
植物性インキを使用しています。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

※広告掲載を希望される場合は、道庁広報広聴課へお問い合わせください。

広告